

12月9日(月)、秋田市の秋田キャッスルホテルにおいて、「佐竹秋田県知事と本会役員との懇談会」を開催しました。懇談会には秋田県から佐竹敬久知事、関根浩一産業労働部長が、また、本会からは塩田謙三会長をはじめ、副会長以下理事9名が出席し、各種施策や中小企業連携組織対策予算等について要望したほか、意見交換を行いました。



【挨拶する塩田会長(右)と藤澤副会長(左)】



【懇談会の様子】



【佐竹秋田県知事】

開会にあたり塩田会長は、「国民文化祭など全国規模の大型イベントを控えて、観光誘客や県産品の消費拡大等、県民の間にも期待感が広がっている。中央会としては、ものづくり補助金秋田県地域事務局や経営革新等支援機関として、本県経済の活性化や成長のため、今後も全力でがんばりたい。」と挨拶し、次の3項目について要望しました。

【塩田会長からの要望事項】

- 1 インフラ整備について
- 2 ものづくり人材の産学官連携による育成強化について
- 3 商工団体組織活動強化費補助金の確保・強化について

佐竹知事は、ものづくりを支える人材の育成に関連して、風力及び太陽光等の再生可能エネルギー設備のメンテナンスができる人材育成の方針を明らかにしたほか、インフラ整備については、「秋田新幹線の高規格化は予算規模から難しいが、高速道路の整備に一定のメドがついたので、今後は県北と県南を直接結ぶ一般道路の高規格化が必要になってくる。」と述べるなど、塩田会長の要望に関する県の対応状況について説明しました。

引き続き懇談が行われ、県内中小企業の声として、各理事から次の意見が出されました。

【本会理事からの主な意見】

- 1 中小企業振興条例による企業支援について
 - (1) 補助事業の要件緩和等について
 - (2) 食品加工業界への販売促進について
 - (3) 卸団地への支援について
- 2 商店街への来街者の安全確保について
- 3 イオンの秋田市大型店舗の出店活動について
- 4 エネルギーの県内需給率の向上について
- 5 官公需について
 - (1) 県発注工事における発注時期の平準化及び適正価格による発注について
 - (2) 物品購入、印刷物等の最低制限価格制度の導入拡大について
- 6 県産品ブランドの保護について

この他、奥羽本線の寝台特急「あけぼの」の廃止や羽越本線の運休対策等、様々なテーマでの意見が出されたのに対し、佐竹知事は一つひとつの質問に意見を述べるなど、大変有意義な懇談会となりました。